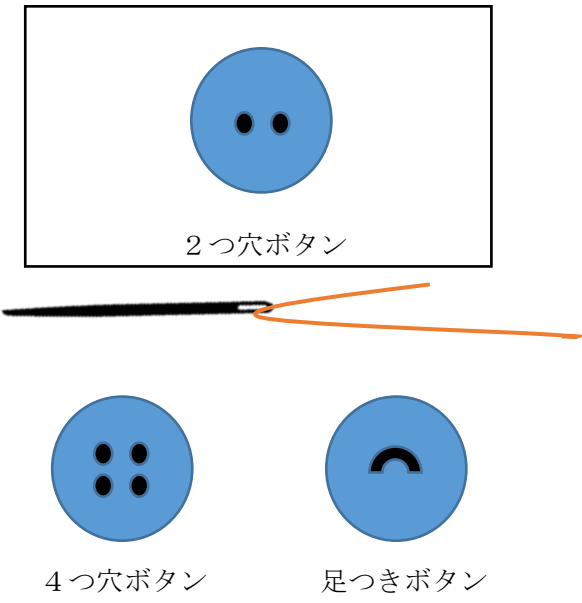
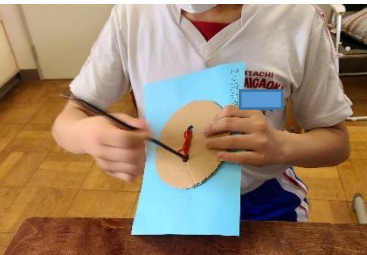
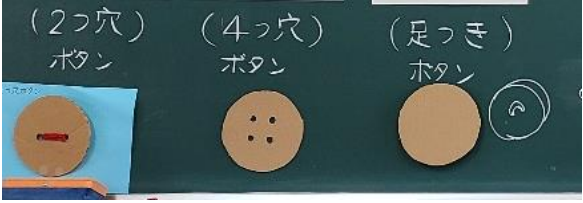


自作教具の活用事例

【作品名】 ボタン付け拡大模型	【学校名】 日立市立泉丘中学校
【活用できる領域・教科等】 作業学習・家庭科	【制作者名】 浅見 紀央
【制作の意図】 ボタンを付けるという細かい作業をする前に、拡大模型を使うことで、全体でも個人でもわかりやすく安全に確認することができる。	【使用方法】 ・拡大模型を使って、ボタン付けの模範を示し、全体で確認する。 ・拡大模型に触れ、使って練習をすることで、作業に慣れたら、実際のボタン付けに挑戦する。
【制作上の工夫】 ・針の先端がとがっていないので、安全面に配慮した。 ・あらかじめ補強した穴を空けておくことで、強度を高め、繰り返し練習ができるようにした。 ・様々なボタン（2つ穴、4つ穴、足つき）を準備し、それぞれの付け方を身につけられるようにした。	【見取り図】  2つ穴ボタン 4つ穴ボタン 足つきボタン
【写真】  	【使用効果と応用発展】 ・全体で確認したことを一人一人が拡大模型を使って練習したことで、曖昧だったボタン付けの、基礎的技能を身につけることができた。 ・ボタン付けの動画や手元で確認できる資料も準備することで、自分で調べたり、確認したりする活動にもつながった。 ・実際に衣服の補修（給食エプロンのボタン、制服のボタン）に役立てていく。
【材料・材質・部品等】 ボタン…段ボール 布…画用紙 針…リコーダー掃除棒 糸…毛糸	